



FOR IMMEDIATE RELEASE : 2010年1月15日

フランス企業マジレム社：“独自且つ斬新な” IP ベースの SOC 設計手法提供ベンダーが、日本でのオペレーションを開始、東京品川にオフィスを開設

2010年1月15日東京発：電気設計者は、設計フローの各ステップで多くの EDA(Electronic Design Automation) ツールを使用しています。新しい XML(Extensible Markup Language) ウェブベースの技術を導入するまで見過ごされてきたものが、真の自動化手法の実現です。これは設計管理・コントロールの簡素化、製品開発期間の短縮、IP(Intellectual Property)統合、IP 再利用の促進、及び複雑化する設計のグローバル・コストの削減をもたらします。

マジレム社は日本市場を非常に大きな可能性のある市場と考えています。つまりプラットフォーム手法導入は、最近の経済状況の悪化からより一層求められ、また多くの日本の主要企業は、より戦略的な製品開発計画を重視してきていると考えます。

マジレム社は、単なる EDA ベンダーではなく、プロダクション・レベルの IP 再利用をベースとした設計手法構築を促進するベンダーで、また IEEE1685(IP-XACT) 準拠のツールとサービスを提供する最大手ベンダーです。

マジレム社は、簡単に使え且つ斬新なプラットフォーム・ソリューションを開発しました。これは電子システム設計フローで次のような様々な課題をカバーします。それらは SOC(System On Chip) の設計期間に影響する設計の複雑化、複数の設計ツールの統合、及び設計資産 (IP) の再利用などです。主なメリットは：

- 設計及び IP 再利用を最大限に活用
- システムと IP を構成する為に仮想プラットフォームを使用
- 設計フローを管理
- 設計フロー構築と最適化を探索
- 様々な EDA/CAD ツールとの独立性を改善
- ツール間、IP 間の統合を改善
- ユーザーインターフェースの改善によって、生産性を上げる
- 業界標準技術対応

マジレム社は、すでに多くの主要企業を顧客としております：テキサスインスツルメント社、ST マイクロ社、NXP (旧フィリップス半導体社)、ST-エリクソン社、Sonics 社、ESA 社、Thales 社、EADS 社他。彼らはマジレム社を、彼らの企業レベルのフロー設計プラットフォーム構築に必要な技術を提供するベンダーとして信頼しております。

マジレム・プラットフォームとは：

マジレム社は Magillem Suite 5.0 をリリースしております。これは以下のような多くの新機能を追加した、最新バージョンの Eclipse® 3.4 開発環境をベースとして開発されたツール群です。

- より使いやすく改善されたユーザーインターフェース

- 同一の設計プラットフォームを複数設計者が協調且つコンカレントに作業できる機能
- プラットフォーム・アセンブリの新たな回路図エディター及び、複雑な階層プラットフォームのデバッグ機能
- 異なる階層での、インスタンスのイーザー・ドラック&ドロップ機能
- アナログ及びミックス設計におけるオプション群
- レジスターに対してのマジレム・ジェネレーターを含む最高クラスのレジスター管理機能
- TCL, Java でのスクリプトアセンブリ機能

業界で認知されているマジレム社の価値は、多くの顧客の実績から示されています：有名半導体企業数社が製品チップ設計に使っているツール群。顧客の様々な要求に沿った柔軟なビジネスモデル。IEEE1685 (IP-XACT)エキスパートのトレーニングとコンサルティング。RTL と ESL 設計フローをサポートする明確なビジネス戦略。迅速な顧客対応重視。マジレム社は当初から IP-XACT 標準の開発に強力にサポートしてきました。IP-XACT はすでに IEEE-1685 標準になっております。

マジレム社について：

マジレム・デザイン・サービス SA は、2006年11月に設立され、8名の共同設立者、エンジニア、及び投資家からの資金を得てスタートしました。本社はフランス・パリ市、及び米国ニューヨークにオフィスを構えております。現在21名の開発者、直接もしくはパートナーの営業担当者から構成されております。その後、マジレム社は Euronext Free Market での株式公開企業になっております。

弊社の詳しい情報は弊社ホームページを参照ください：www.magillem.com.

IEEE 1685 (IP-XACT)について：

- IP-XACT は電子設計コンポーネント及び設計を定義し記述するために、すでに世界で広まっている XML ベースのフォーマットです。
- IP-XACT は様々なツールを使いコンフィグレーションと統合の自動化を促進する標準技術として、まず [SPIRIT Consortium](#) によって開発され、その後米国の標準化団体 [Accellera](#) の一部になりました。
- 現在は120社の企業と団体が参加しており、日本では STARC がメンバーとなっております。

この標準の目的は以下です：

- 複数のコンポーネントベンダーから似たようなコンポーネント記述配布を可能にする。
- SOC 設計（設計環境）において、EDA ツール間での複雑なコンポーネントライブラリの交換を可能にする
- メタデータを使ってコンフィグ可能なコンポーネント記述
- コンポーネント設計及びコンフィグレーション（ジェネレーター、コンフィグレーター）に対して、EDA ベンダー独立のスクリプトの提供を可能にする。

###

<お問い合わせ先>

マジレム社日本担当：横川 秀美

携帯：090-4748-1652、E-mail: yokokawa@magillem.com

〒108-6028 東京都港区港南2-15-1、品川インターシティA棟28階

Tel: 03-6717-4589、Fax: 03-6717-4141